



都道府県記者クラブ、  
高山記者クラブ同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和7年5月12日(月) 岐阜県発表資料			
所 属	担当係	担当者	電話番号
飛騨県事務所	振興防災課 観光係	田屋 淵上	代表 0577-33-1111 (内線 208) FAX 0577-33-1085

## 風を感じる、絶景を走る。 「おくひだマウンテンバス」を運行します

中部山岳国立公園南部地域を世界水準の旅先として磨き上げていく「松本高山 Big Bridge 構想実現プロジェクト」を推進するため、県では、当該エリアの誘客プロモーションを実施しています。

このたび、当国立公園内に位置する奥飛騨温泉郷において、屋根のないオープンバス「おくひだマウンテンバス」を期間限定で運行します。

### 記

#### 1 運行期間

令和7年6月28日(土)～7月18日(金)

#### 2 運行ルート

平湯バスターミナル⇄新穂高ロープウェイしらかば平駅  
(朝夕のみ高山濃飛バスセンター発着便あり)



#### 3 料金

片道 2,000 円/人 (高山濃飛バスセンター発着便は 4,000 円) ※大人・小人同額

#### 4 便数、ダイヤ

6 便/日 (往路 3 便、復路 3 便)

高山濃飛 バスセンター		平湯 バスターミナル		新穂高 ロープウェイ		新穂高 ロープウェイ		平湯 バスターミナル		高山濃飛 バスセンター
8:05	→	9:10	→	9:50		10:25	→	11:05		
		12:10	→	12:50		13:25	→	14:05		
		15:10	→	15:50		16:25	→	17:05	→	18:05

#### 5 販売座席数

44 席/便

#### 6 チケット販売

5月12日(月) 正午から販売を開始します。下記URLまたは二次元コードから専用サイトにアクセスし、ご購入下さい。なお、濃飛バス窓口(高山濃飛バスセンター、平湯バスターミナル)でもご購入いただくことが可能です。

<http://okuhida.pref.gifu.lg.jp/>

5月12日(月) 正午サイト公開



#### 7 問合せ

濃飛バス予約センター TEL: 0577-32-1688 (営業時間: 9時～17時)

## 8 バス乗車の魅力

### (1) 非日常の開放感

屋根のない360度の景色を楽しめるバスに乗車することで、吹き抜ける風、木々の香り、鳥のさえずり、標高に応じた気温の変化など非日常の開放感を味わうことができます。



### (2) 至高の絶景ルート

奥飛騨温泉郷は、北アルプスの麓に位置し、平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高の5つの温泉地で構成されています。高くそびえる山々を望みながら、5つの温泉地を一気に駆け抜ける至高の絶景ルートをバスが走ります。



### (3) 温泉旅館のスタッフによるガイド

奥飛騨温泉郷内の温泉旅館スタッフがガイドとなり、案内を実施します。バスからの眺める景色に加えて、歴史、文化、そして人の営みといった「奥飛騨のストーリー」等を感じていただくことで、より深い観光体験を味わっていただけます。



### (4) 地元小学校によるバス名称の考案

「おくひだマウンテンバス」という名称は、奥飛騨温泉郷内唯一の小学校である「高山市立栃尾小学校」の児童達が名称案を考え、候補の中から地元の（一社）奥飛騨温泉郷観光協会（本事業の受託者）が決定しました。6月27日（金）のお披露目式、先行試乗会では、全児童がバスに乗車し、改めてふるさとの風景を堪能していただきます。

### (5) バス乗車特典

バスの発着地となる新穂高ロープウェイでは、バス乗車特典として、しらかば平駅にあるベーカリーショップ「アルプスのパン屋さん」において、好きなパンとドリンクがプレゼントされます。

## 9 報道関係者向けお披露目式、先行試乗会

日 時：令和7年6月27日（金）

受付：10時～、お披露目式：10時30分～、先行試乗会：11時30分～

場 所：中部山岳国立公園奥飛騨ビジターセンター（高山市奥飛騨温泉郷平湯 763-12）

取材申込：<https://forms.gle/vE1KwKFVoHWXSkDv6> ※取材、先行試乗会ともに要申込

申込期限：令和7年6月20日（金）15時

その他：・先行試乗会には高山市立栃尾小学校児童も同乗するため、乗車人数が限られることから申込は先着順とさせていただきます。

・12時30分頃新穂高ロープウェイしらかば平駅に到着した後、解散となります。13時発の回送バスに乗車いただくことも可能です。

### <参考：松本高山 Big Bridge 構想実現プロジェクト>

・令和3年より環境省が主導するプロジェクトで、中部山岳国立公園南部地域を間に挟み、松本市街地と高山市街地を繋ぐ横断ルートを”Big Bridge（ビッグブリッジ）”と位置付け、多彩で上質な体験と滞在ができる魅力的な観光ルートに地域関係者で磨き上げていく構想。

・松本城、古い歴史街並み、3,000m級の山岳、高原アクティビティ、温泉、里山など、日本最高峰の“日本の屋根・北アルプス”と松本高山という2つの大都市がコンパクトに集結しているエリアだからこそ提供できる魅力づくりを進め、地域一体となった新たな観光圏の確立を目指す。